

5 伝染性紅斑

妊婦は流産等のおそれがあり要注意

1 病原体名

ヒトパルボウイルス B19

2 年齢層

幼児から小学生(2~12歳)に多いですが、乳児や成人が感染することもあります

3 潜伏期間

4~14日間

4 症状とケア

- ☑ 発熱やだるさ、頭痛などの軽い症状から始まります。その後、ほほに境目のはっきりした紅い発しんが出ます。続いて手足を中心に淡い網目状の発しんが出ます。
- ☑ 皮膚の症状は1~2週間程度で消失します。
- ☑ 成人では強い関節痛や頭痛の症状が出るがありますが、ほとんどは自然に回復します。
- ☑ 日本の妊婦で抗体を持っているのは約20~50%です。



妊婦が初めて感染すると、流産や死産、胎児貧血や胎児水腫を起こすことがあります。

5 診断と治療

- ✔ 症状や抗体検査や PCR 検査で診断します。
- ✔ 特別な治療法はなく、対症療法を行います。

6 家庭に持ち込まないために

- ✔ 感染経路は飛まつ感染と接触感染です。
- ✔ ワクチンなどの特別な予防法はありません。
- ✔ アルコール消毒が効きにくく、石けんによる手洗いやせきエチケットが大切です。
- ✔ 妊娠中や妊娠の可能性のある女性は、マスクの着用や、風邪症状の人との接触を避けましょう。保育園等で流行が見られるときは、送迎を控えましょう。



7 家庭で拡げないために

- ✔ 皮膚の症状が現れた時は、もうウイルスは排出されていないので、感染が拡がる心配はありません。